

宝木校区人権推進協議会

生きる人権

会長 岡田 寿晃

私事ですが、七月に健診を受け胃癌が発見されました。へ癌イコール死の意識の強い私は頭が真白になり、何もできなくなりました。医師や家族の励ましでやっと前進しはじめました。三月現在八か月食事と格闘しています。

その間、会の役員会や事業への出席が全くできず、副会長・推進員・幹事・事務局に迷惑をかけました。十五年間の任期の内でも働けなかった年でした。リハビリをしながら頭から離れなかったのが「生きる」ということでした。死ということばが消え去った今、医師の力・家族の励まし、「向こう三軒両隣りの声かけは、何物にも替え難い宝物だと感謝しています。人権推進の根幹は「生きる」ことではないかと思うくらいです。

私が常日頃思っていることなのですが、資産・性別・年齢・学歴・障がい・職業などで差別言動が起きることがなく、人権「生きる」が大切にされ、安全で安心できるという、こんな宝木校区になったらどんなにいいだろうと思っています。

県外視察研修で解放運動・人権運動の原点を学ぶ

推進員 藤本 高一

宝木校区人権啓発推進協議会は、差別の原点を学ぶと題し日本で最初の人権宣言文と言われる奈良県御所市柏原にある、水平社博物館を視察研修しました。一九二二年三月三日、京都市・岡崎公会堂、全国水平社創立大会で、「人の世に熱あれ、人間に光あれ」と人間の尊厳と平等をかかげ、全国水平社は創立されました。

九十年を経た今、西光万吉他、創立者（柏原生まれ）であった人々は歴史上の人物になりましたが、水平社宣言文は、日本で最初の人権宣言文といわれ、解放運動、人権運動の魂として生き続けています。

平和と人権の確立をめざす部落解放運動、人権運動の原点が、水平社に有ることは言うまでもなく、宝木校区人権啓発推進協議会は、解放運動、人権運動と水平社宣言文の作成に貢献した活動家の歴史を学んでまいりました。

又、水平社博物館、館内は、部落解放運動、人権運動に貢献した人物の紹介展示他、戦前・戦後の歴史年表、その他、多くの展示品が展示してあります。

又、地元ガイドの説明でフィールドワークを行い、西光万吉の生家、西光寺、活動家グループ（燕会）がよく集まり話し合ったとされる、燕神社、水平社宣言記念碑など、視察研修を行いました。

この県外視察研修で学んだ事を、宝木校区人権啓発推進協議会の啓発活動に役立てたいと思っています。





小地域懇談会実施風景
(酒津)

近年、小地域懇談会の出席者数は横ばい状況である。区長さんや各部落の推進委員さんにも働きかけてもらっているし、参加者の意見や、研修会での講演内容を参考に工夫をしているつもりだが、あまり変化がない。何が原因なのだろう。私たちの日常生活に解決しなければならぬ人権侵害はないのだろうか？それともそのようなことを被っていると感じかないのだろうか？人を傷つけるような言動が無いのなら、このような懇談会を実施する必要が無いように思う。

日常生活の中に、どのような人権侵害が有るのか、あるいは無いのかのアンケートを実施し、さらに工夫をしてはどうかと思う。

推進員 米田 克彦



ふれあい交流会に参加して

酒津 辰巳 自子

春待ち遠しい今日この頃、とてもよい天気恵まれ会場では楽しそうな笑い声、話し声に春の訪れを感じました。

大助・花子さんの人権啓発ビデオを視聴し、その後芸能発表があり、私たちシーサイドひまわり（銭太鼓）は今年で3回目の参加です。いつもドキドキしながら演じているのですが、皆様の温かい拍手を頂きとてもありがたいです。ゲームもグループ別で競いあい楽しく過ごしました。又昼食には美味しいカレーライスをお馳走になり楽しい交流会ありがとうございました。宝木校区人推協の役員の皆様に感謝致します。ありがとうございました。



ふれあい交流会
3月3日（日）参加者91名でした♪

